

下越労務協会組合員 先着2社様限定 無料サービス！！

法令違反は会社の存続にかかわるリスクです！

社員とのトラブル や 労基署の調査 などの 対策に

会社を守る 労務監査 を行いませんか？

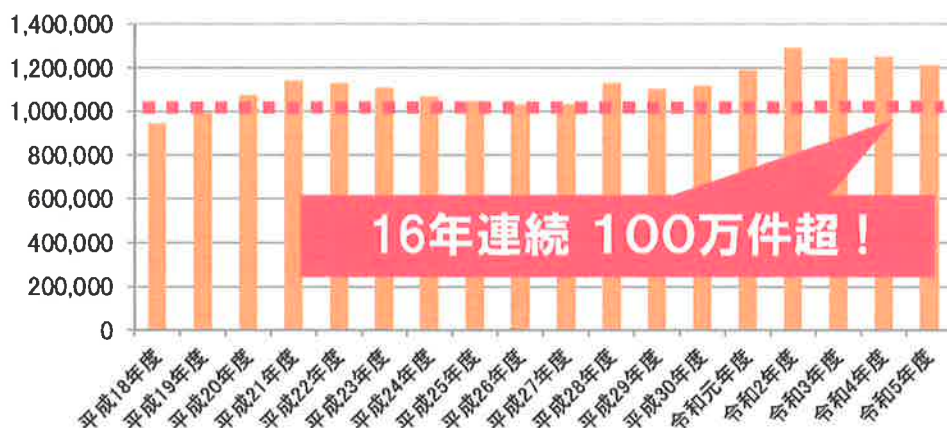
労働関係法違反は大きなリスク

- ◆ 未払い残業代請求
- ◆ 過労死訴訟
- ◆ ハラスメント
- ◆ 長時間労働 など



総合労働相談件数

(労働基準法等の違反の疑いがあるもの+法制度の問い合わせ+民事上の労働相談)



高額を支払命令や賠償金で経営が傾いたり、“ブラック企業”のレッテルを貼られてしまえば顧客離れや人材の募集・採用に支障をきたす致命的なダメージになりかねません。

労務監査が今、注目されています

「労務監査」とは、労働関係法を中心とする法令が社内で守られているか調査を行うことです。監査といえば、法定の会計監査が知られていますが、労務監査は任意であり、これまで定期的の実施している会社は多くありませんでした。

しかし、増加する社員トラブルや労働基準監督署(労基署)の調査に対し事前に「問題があるのかなのか」「問題はどこにあるのか」チェックできるリスク対策として注目されています。



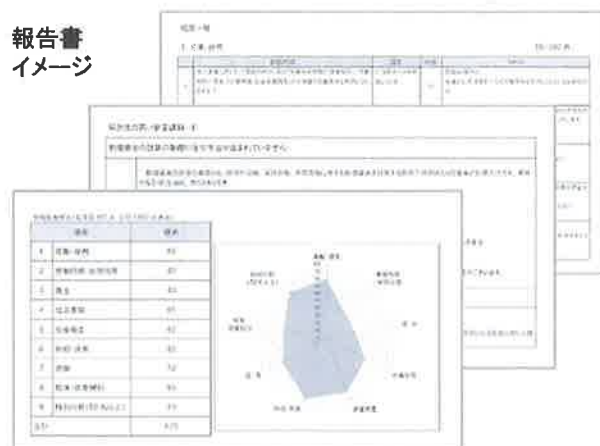
8分野各10質問の合計80質問で会社に潜む労務リスクを診断します！

■診断するのは、労基署がよくチェックする項目や、社員とのトラブルの原因になりやすい以下の8分野です。

①	②	③	④
労働時間・休憩・休日	賃金	労働・社会保険	安全衛生
⑤	⑥	⑦	⑧
休暇・休業	募集・採用	退職	帳簿・就業規則

■診断結果は、課題の優先順位づけを行い監査報告書としてまとめさせていただき、解説レポートとあわせて納品します。

報告書イメージ



労務リスクチェックの詳細や実際のフローなどは裏面をご覧ください